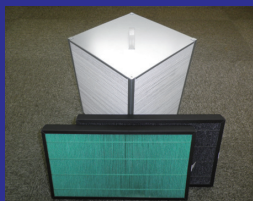


中間期のご報告

2021年4月1日～2021年9月30日



三菱製紙株式会社

証券コード：3864

株主の皆様へ

平素は格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

三菱製紙グループの当上半期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の概況をご報告いたします。

中国・米国において新型コロナウイルス感染症の影響から回復がみられ、欧州でも行動制限の緩和が進むなか、日本経済は多くの地域で長期間にわたり、緊急事態宣言が発令されたものの、海外経済の回復による好調

な輸出などを背景に一部に持ち直しの動きがありました。当社グループを取り巻く環境も、国内外において外出やイベントの制限が一定程度緩和されたことなどから、緩やかに需要の回復がみられました。

この結果、当上半期は、連結売上高は858億7千4百万円と前年同期に比べ9.2%増となりました。

損益面では、生産販売数量の回復や固定費削減などのコストダウンにより、連結営業利益は2億8千8百万円、連結経常利益は7億4千万円となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は2億5千6百万円となりました。

このような状況下、当社グループは各事業の需要動向に合わせた生産体制の拡大・縮減を実施するなど、急変する状況に応じた柔軟な生産販売対応を行いました。

最終年度となる「新中期経営計画」(2019年4月～2022年3月)につきましては、3つの重点戦略、

- ① 王子グループとのアライアンスによる強固な経営基盤の確立
- ② 既存事業の再構築と充実
- ③ 新たな収益の柱の育成による事業基盤の多様化

に精力的に取り組む、基本方針である「新しいステージに立った事業基盤の強化と多様化」を進めています。

王子グループとのアライアンスでは、当社白河事業所のプレスボード事業を王子エフテックス(株)へ事業譲渡すべく準備を進め2021年10月1日に完了するなど、資本業務提携を通じて事業ポートフォリオの変革と経営基盤の強化を進めています。

中間配当につきましては、見送ることとさせていただきます。今後とも企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長 立藤幸博

2021年12月

事業の概況

紙パルプ事業

国内市場はコロナ禍の影響により大きく需要を減らした前年同期比では印刷用紙を中心に販売数量、金額ともに一定程度回復しました。輸出につきましては販売数量、金額ともに増加しました。また生産面では需要動向に合わせた生産体制を継続してまいりました。

欧州子会社につきましては、需給関係の軟化等により、販売金額は減少しました。

市販パルプは、市況価格の高騰により、販売数量、販売金額ともに増加しました。

以上の結果、紙パルプ事業は増収減益となりました。

コロナ禍は一旦落ち着きつつありますが、紙需要は品種・用途によって回復に差が生じていることや、足元では原燃料価格が高騰するなど予断を許さない状況にあります。

これに対し、王子グループとの協業深化に加え、晒クラフト紙や機能板紙の拡販、脱プラスチックに寄与するバリアコート紙の品揃え拡大などを進め、製品ポートフォリオの転換を加速し、早期に収益の安定化を目指してまいります。

イメージング事業

新型コロナウイルスワクチン接種の進展等で新規感染者数が減少に転じた一部地域では旅行やイベントの制限が緩和され、国内及び海外市場ともに画像出力用途を中心とする写真感光材料やインクジェット用紙の需要回復に加え、業務用途のインクジェット用紙やエレクトロニクス関連製品の新規開拓を進め、増収増益となりました。

世界各国の市場動向に柔軟に対応しながら海外顧客との協業体制構築による販売力強化と成長分野での新規拡販を推進しつつ、国内外で生産体制の再編と販売体制の効率化を遂行し、収益力向上に取り組んでまいります。

機能材事業

エアフィルター、水処理膜支持体などは堅調に拡大しました。また、化粧板原紙やテープ原紙の需要も回復しました。

生産性向上によるコストダウン効果等もあり増収増益となりました。

引き続き、水処理膜支持体の新規ユーザー獲得やMBR（膜分離活性汚泥法）膜用への展開に加え、バッテリーセパレータ、耐熱不織布、テープ原紙、新たに設備を立ち上げたメルトブロー不織布の拡販に注力してまいります。

(単位：百万円)

		売上高			営業利益 (△は損失)		
		2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増減率	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	増減率
報告 セグメント	紙・パルプ	61,385	64,714	5.4%	△1,277	△1,334	-
	イメージング	12,743	15,372	20.6%	△1,592	550	-
	機能材	6,957	8,891	27.8%	524	1,096	109.0%
	倉庫・運輸	3,637	3,866	6.3%	45	86	90.2%
	計	84,723	92,845	9.6%	△2,299	399	-
その他	2,765	2,953	6.8%	△35	1	-	
計	87,488	95,798	9.5%	△2,335	400	-	
調整額 (注)	△8,815	△9,924		△51	△111		
合計	78,672	85,874	9.2%	△2,386	288	-	

(注) 調整額は主として内部取引に係るものです。

TOPICS

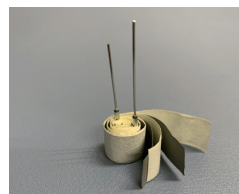
需要好調で今後の伸長も見込まれる機能材事業の総合拠点に高砂工場を位置づけ、研究開発と生産の連携を強化すべく、同工場内に高砂R&Dセンターを新設するとともに、新たに湿式不織布抄紙機の増設、メルトブロー不織布製造設備の設置といった設備増強を行っています。高性能な機能性濾材の開発・製造をスピーディーに進め、機能材事業の拡張を目指します。

湿式不織布抄紙機の増設

水処理膜基材やセパレータ向けで需要好調な湿式不織布を増産するため、抄紙機の増設を行い、2022年4月の営業運転開始を予定しています。

各種水処理膜は、暮らしや産業でますます使われる機会が増えており、今後も中国・インドを中心に伸びが期待されます。

電気二重層キャパシタ等に使用されるセパレータは、テレワーク普及で整備が急がれるネットワークインフラや、自然エネルギー関連設備、自動車関連など、さまざまな分野でニーズが拡大しています。



メルトブロー不織布製造設備の稼働

乾式不織布分野への進出を果たすため設置したメルトブロー不織布製造設備は、2021年9月より営業運転を開始しました。

フィルター事業で培った抗ウイルス技術をもとに開発したアレルスイープ®Nフィルターと組み合わせた純国産4層不織布マスクの製造・販売も開始しており、複数のマスクメーカーへのフィルター濾材の提供も開始しました。



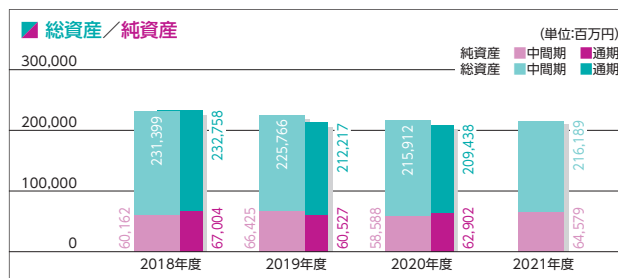
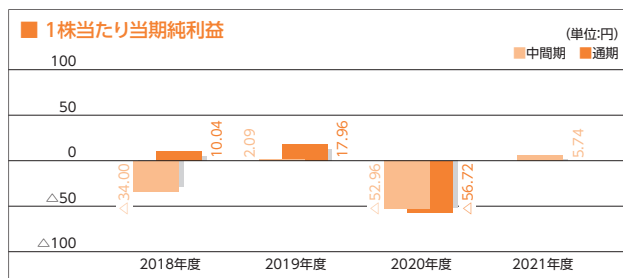
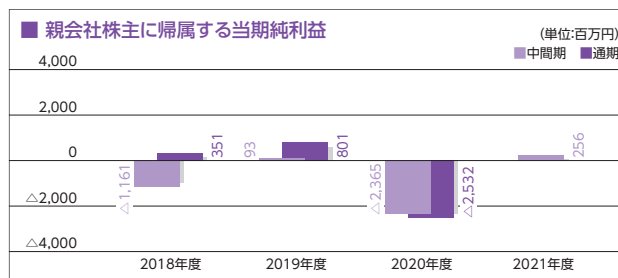
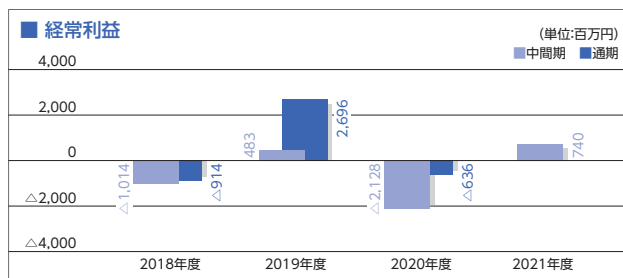
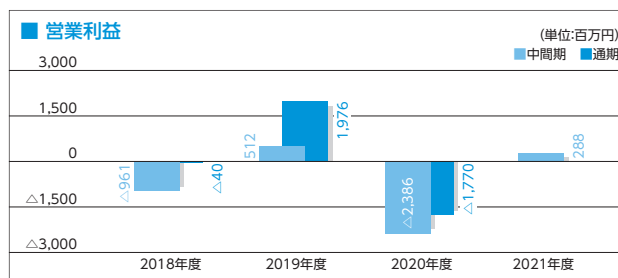
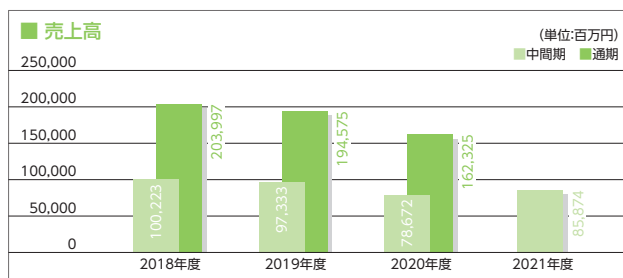
マスクシリーズ、除菌液pure Leafシリーズは、オンラインショップ「三菱製紙楽天市場店」にてご購入いただけます。

<https://www.rakuten.co.jp/mpm-imd/>

業績ハイライト (連結)

売上高	859億円
営業利益	3億円
経常利益	7億円
親会社株主に帰属する中間純利益	3億円

財務ハイライト (連結)



会社概要等

(2021年9月30日現在)

会社概要

商号	三菱製紙株式会社	主な事業内容	紙・パルプ・インクジェット用紙・各種機能材の製造、加工及び販売
設立	1898年4月1日	連結従業員数	3,541名
資本金	36,561百万円	ホームページ	https://www.mpm.co.jp/

主な事業所及び工場

本社

〒130-0026 東京都墨田区両国二丁目10番14号
Tel : 03-5600-1488 (代表)

大阪営業所 大阪府大阪市

高砂工場 兵庫県高砂市

京都工場 京都府長岡京市

八戸工場 青森県八戸市

北上事業本部 岩手県北上市

白河事業所 福島県西白河郡西郷村

高砂R&Dセンター 兵庫県高砂市

京都R&Dセンター 京都府長岡京市

株式の状況

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	44,741,433株
株主数	15,906名

役員の状況

取締役及び監査役

取締役会長 (代表取締役)	武田 芳明
取締役社長 (代表取締役)	立藤 幸博
取締役	佐藤 信弘
取締役	山田 真平
取締役	眞田 茂春
取締役	鈴木 邦夫
社外取締役	竹原 相光
社外取締役	片岡 義広
常勤監査役	中山 浩一
社外監査役	殿岡 裕一
社外監査役	小林 健
社外監査役	滝沢 聡

執行役員

* 社長執行役員	立藤 幸博
* 常務執行役員	佐藤 信弘
* 常務執行役員	山田 真平
* 常務執行役員	眞田 茂春
執行役員	太田 禎二
執行役員	高上 裕二
執行役員	小林 裕昭
執行役員	藤浦 貴夫
執行役員	及川 浩典
執行役員	茂原 宏
執行役員	中川 邦弘
執行役員	藤田 郁夫

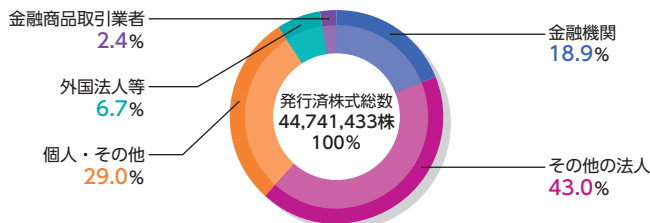
*印の執行役員は、取締役を兼務しております。

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
王子ホールディングス株式会社	14,693	32.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,324	7.44
那須 功	2,105	4.71
三菱製紙取引先持株会	895	2.01
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	855	1.91
富士フィルムホールディングス株式会社	850	1.90
農林中央金庫	650	1.46
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	569	1.27
三菱製紙従業員持株会	475	1.07
三菱瓦斯化学株式会社	465	1.04

(注) 持株比率は自己株式(72,967株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告記載URL https://www.mpm.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1.株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金振込指定・変更その他各種お手続き
口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。

2.特別口座に記載された株式に関する各種お手続き

特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社)にお問合せください。

*特別口座での株式の購入・売却はできません。お取引をするには、証券会社に口座を開設し、株式を振り替えるお手続きが必要になります。

3.未受領配当金

未受領配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。